

### ■財団の歩み

当財団は、男女共同参画社会の実現に寄与することを目的に平成6(1994)年4月、大阪府の全額出資によって設立されました。「国連婦人の10年」(1976年～85年)をきっかけにした女性の地位向上を求める運動の高まりを背景に、多くの府民、団体が計画作りに参画し、設立同年の11月に開館したドーンセーターを拠点にした先駆的な運営によって高く評価されてきました。

しかしながら、平成11(1999)年度を境に大阪府の財政状況悪化に伴う出資法人改革によって組織運営の抜本的な見直しを余儀なくされるようになりました。平成22(2010)年度からは、大阪府の補助金全廃と出向職員ゼロという自立化財団に衣替え。さらに、平成24(2012)年度には、国の公益法人制度改革に伴って従来の「財団法人」から「一般財団法人」に移行しました。

自立化と新法人移行という激変に耐えつつ、財団は平成24(2012)年6月に「中期経営プラン」(平成24年度～27年度)を策定しました。このプランを指標に、スリムな組織ながら職員が培ってきた専門性とネットワークを駆使して活動の範囲を大阪から全国へと広げ、「明るく元気な大阪のために」「女性も男性も、子どもも高齢者も、すべての人が生きやすい男女共同参画社会づくりのために」を二大スローガンに多様な事業を展開しています。

### ■運営の方向

- 事業レベルと職員の専門性の維持・向上
- 政策提言機能の付加
- 事業受託先の拡充と連携・協働相手先の多様化
- 理事会機能強化と運営自己評価の実施
- 情報発信と開かれた運営

### ■事業の基本方針

- 財団の特性、強みを活かす
- 財団ならではのパイロット事業の実施
- 課題解決につながる事業展開

### ■重点テーマ

- 女性の経済的・社会的エンパワメント
- ダイバーシティ(多様性)の尊重
- 次世代の育成
- 防災分野における男女共同参画の推進